

統合型会計情報システム

FX4 クラウド

TKC経理業務 効率化セミナーテキスト

セミナー内容

第1部 証憑保存機能を徹底解説

第2部 インボイス・マネジャー（FX4クラウド）

第3部 FX4クラウド[2024年01月版]のご案内

第4部 FX4クラウドの便利な機能

目 次

第1部 証憑保存機能を徹底解説	1
第1章 電子取引データの電子保存義務化への対応.....	2
第2章 証憑保存機能の特長	7
第3章 立ち上げ手順.....	12
第4章 証憑の保存.....	16
第5章 仕訳の計上.....	17

第2部 インボイス・マネジャー（F X 4クラウド）	20
第1章 インボイス・マネジャー（F X 4クラウド）とは.....	21
第2章 証憑保存機能との違い.....	22
第3章 ペポルインボイスとは.....	25
第4章 導入したユーザの声	27

第3部 F X 4クラウド[2024年01月版]のご案内	28
第1章 仕訳帳および元帳画面の改訂（事業者登録番号等の表示）	29
第2章 製造原価科目の固定区分の初期値変更.....	30
第3章 レシート入力方式の改訂	33

第4部 F X 4クラウドの便利な機能	36
第1章 「キャッシュレス納付」を支援する機能	37
第2章 経営者の「意思決定」を支援する機能.....	39
第3章 経理担当者の「経理業務」を効率化する機能.....	41
ご案内 T K Cシステムまいサポート	45

証憑保存機能システム利用マニュアル	46
-------------------------	----

証憑保存機能のシステム利用マニュアル[2024 年 01 月版]を、セミナー動画視聴ページからダウンロード頂く方法についてご案内します。

F X 4 クラウドシステム解説書・操作説明書	48
-------------------------------	----

セミナーでご紹介した機能にかかる「F X 4 クラウドシステム解説書(第 41 版)」と「F X 4 クラウド操作説明書(第 42 版)」の抜粋を掲載します。

(注)項目名、章及び項番はそのままとしています。

なお、「F X 4 クラウドシステム解説書(第 41 版)」および「F X 4 クラウド操作説明書(第 42 版)」は、F X 4 クラウドの「ヘルプ」メニューにある「システム解説書」ならびに「操作説明書」をクリックで確認いただけます。

システム解説書

第 2 章 仕訳の入力

1. 仕訳の入力

1. 7 レシート入力方式	49
---------------------	----

操作説明書

第 4 章 「日常業務」タブ

1. 取引の入力

1. 9 「8 レシート入力方式」	52
-------------------------	----

第1部 証憑保存機能を徹底解説

セミナー資料

TKC 経理業務 効率化セミナー 2024春

■目次

- 第1部 証憑保存機能を徹底解説～電子取引データの電子保存対応も安心～
- 第2部 インボイス・マネジャー(FX4クラウド)
- 第3部 FX4クラウド[2024年01月版]のご案内
- 第4部 FX4クラウドの便利な機能

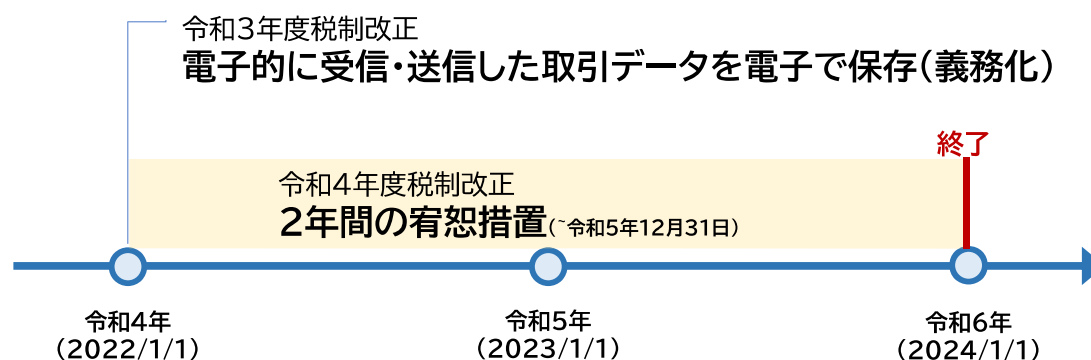
第1部 証憑保存機能を徹底解説 ～電子取引データの電子保存対応も安心～

■目次

- 第1章 電子取引データの電子保存義務化への対応
- 第2章 証憑保存機能の特長
- 第3章 立ち上げ手順
- 第4章 証憑の保存
- 第5章 仕訳の計上

第1部でお伝えしたいこと

電子取引の取引情報に係る電磁的記録の保存に関する「宥恕措置」が令和5年12月末で終了し、令和6年1月からは、メールやウェブサイト上でやり取りした請求書や領収書等の電子取引データは、原則電子データのまま保存が必要です。



第1部では、
電子取引データの電子保存義務化対応だけでなく、経理業務の大幅な効率化を実現するFX4クラウドの標準機能「証憑保存機能」を徹底解説します。

第1章 「電子取引データの電子保存義務化」への対応

1. 電子取引とは

(ご参考)電子取引データチェックリスト

2. 宥恕措置は令和5年12月末で終了

3. 電子取引データの保存要件

4. FX4クラウド標準機能「証憑保存機能」

5. 「証憑保存機能」はスキャナ保存の保存要件にも対応

1. 電子取引とは

電子メールの添付ファイルやホームページからダウンロードした請求書や領収書等(PDF形式等)、大きく7つに分けられます。



電子メールにより請求書や領収書
(添付PDF等)を受領している
メールのまま保存しているだけでは
保存要件を満たしません！



ホームページからダウンロードし
た請求書や領収書(PDF等)、ホ
ームページ上に表示された請求書
や領収書のスクリーンショットを
利用している



電子請求書や電子領収書の授受に
係るクラウドサービスを利用し
ている



クレジットカードの利用明細、交
通系ICカードの支払いデータ、ス
マホアプリの決済データを活用し
たクラウドサービスを利用してい
る



特定の取引に係るEDIシステム※を
利用している
※請求書等を電子的に交換できるシステム



ペーパーレス化されたFAX機能を
持つ複合機を利用している
印刷せずにイメージデータとして保存
する場合は「電子取引」に該当！



請求書や領収書等のデータをDVD
等の記録媒体を介して受領してい
る

(ご参考) 電子取引データチェックリスト

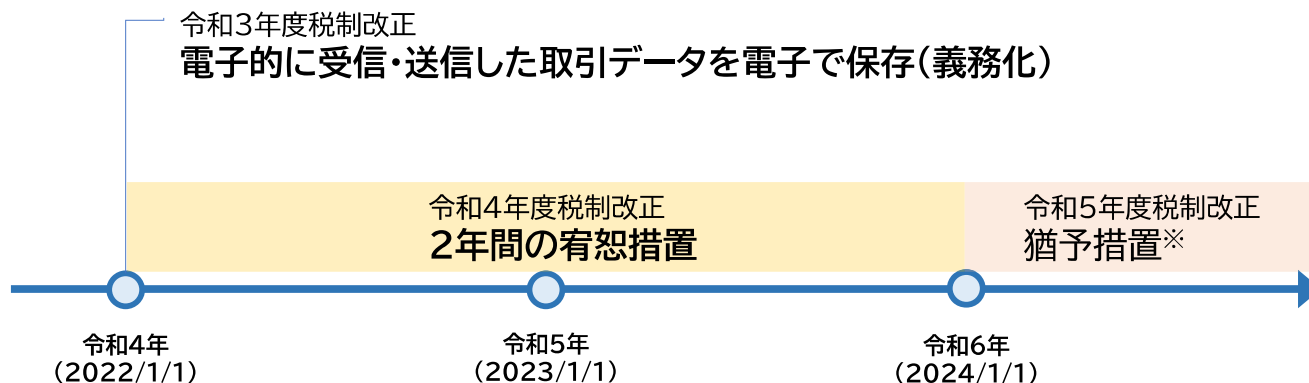
Check

以下の取引はありませんか？
次の領収書、請求書等は、電子取引に該当します。

- ☐ 電子メール(メール本文や添付ファイル)で請求書や領収書を受領している
- ☐ Amazon、楽天、モノタロウ等のインターネットサイトで物品購入している
- ☐ 公共料金の請求は紙が無く、インターネットで確認している
- ☐ クレジットカードの利用明細をインターネットで入手している
- ☐ PayPay等電子決済サービスを利用している
- ☐ 従業員がネットで購入した旅費(JALやANA等)を立替払い精算している
- ☐ 電子請求書や電子領収書等を受領している
- ☐ 複合機でFAXを電磁的に受け取って紙を出力していない
- ☐ 請求書や領収書等のデータをDVDやフラッシュメモリで受領している
- ☐ 大手メーカーとの取引に専用のシステム(EDIシステム)を利用している
- ☐ 運送会社の請求データをインターネットで入手している

2. 宥恕措置は令和5年12月末で終了

電子取引データの紙での保存を認める「宥恕措置」が令和5年12月末で終了し、
令和6年1月1からは電子データの保存が本格的に義務化されます。



※猶予措置について

- 次の要件をいずれも満たしている場合は、保存要件を満たす対応は不要、電子取引データを単に保存するだけでよいとされています。
- ・保存時に満たすべき要件に従って電子取引データを保存することができなかったことについて、所轄税務署長が相当の理由があると認める場合(事前申請等は不要)
 - ・税務調査等の際、電子取引データの「ダウンロードの求め」及びその電子取引データをプリントアウトした書面の提示・提出の求めにそれぞれ応じることができるようにしている場合

3. 電子取引データの保存要件

電子取引データを保存するにあたり、やり取りが実際に存在し(真実性)、必要な期間保存され(保存期間)、保存後も探しやすく(検索性)、見やすい(可視性)等の**保存要件**が求められます。

保存要件	要否	要件
真実性	△	システム概要書類の備付け(※1)
	4方法のうちいずれか ○	①発信者側でタイムスタンプを付する方法
		②受信者側で速やかにタイムスタンプを付す方法(※2)
		③データの訂正削除を行った場合にその記録が残るシステム又は訂正削除ができないシステムを利用して授受および保存を方法
保存期間	○	④事務処理規程を設け正当な理由のない訂正削除を防止する方法
	○	法人7年間(欠損金繰り越し控除を受ける法人10年間)、個人5年間
検索性	○	①取引年月日その他の日付、取引金額、取引先による検索
	△	②日付又は金額の範囲指定による検索(※3)
	△	③2つ以上の任意の記録項目を組み合わせた検索
可視性	○	見読可能装置(PC、ディスプレイ、プリンタ)の備付け、整然・明瞭、速やかな出力

※1 自社開発のプログラムを使用する場合に限る

※2 その業務の処理にかかる通常の期間を経過した後、速やかに(2か月以内)

※3 保存義務者が税務職員による質問検査権に基づく電磁的記録のダウンロードの求めに応じる場合は②および③の要件は不要

4. FX4クラウド標準機能「証憑保存機能」

FX4クラウドは、電子取引データの保存要件に完全対応した**証憑保存機能**を搭載しています。電子取引データの保存だけでなく、読み取り内容を仕訳入力的基础データとして利用できるため、仕訳の計上が簡単になります。



証憑保存機能は、電子帳簿保存法に完全準拠(JIIMA認証取得)しています。

JIIMA認証とは、市販されているソフトウェア等が電子帳簿保存法の要件を満たしているかをJIIMAがチェックし、法的要件を満たしていると判断したソフトウェア等を認証する制度です。

4. FX4クラウド標準機能「証憑保存機能」

(ご参考)タイムスタンプを付す期間によっては事務処理規程の作成が必要

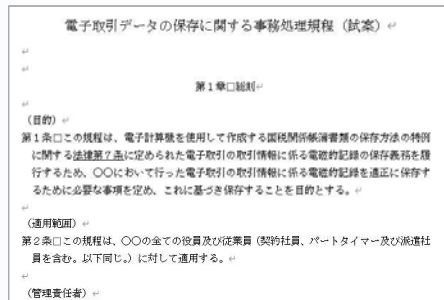
保存要件	要否	要件
真実性	△	システム概要書類の備付け(※1)
	4方法のうちいずれか○	①発信者側でタイムスタンプを付する方法 ②受信者側で速やかにタイムスタンプを付す方法(※2) ③データの訂正削除を行った場合にその記録が残るシステム又は訂正削除ができないシステムを利用して授受および保存する方法 ④事務処理規程を設け正当な理由のない訂正削除を防止する方法
	○	法人7年間(欠損金繰り越し控除を受ける法人10年間)、個人5年間
	○	①取引年月日その他の日付、取引金額、取引先による検索
保存期間	○	②日付又は金額の範囲指定による検索(※3)
検索性	△	③2つ以上の任意の記録項目を組み合わせた検索
可視性	○	見出し可能装置(PC、ディスプレイ、プリンタ)の備付け、閲覧・照会、速やかな出力

保存要件:真実性

受信者側で速やかに(又はその業務の処理にかかる通常の期間を経過した後、速やかに)タイムスタンプを付す。

※括弧書の取扱いは、**取引情報の授受から当該記録事項にタイムスタンプを付すまでの各事務の処理に関する規程を定めている場合に限る。**

電子取引データを「その業務の処理にかかる通常の期間を経過した後、速やかに(2か月以内)」タイムスタンプを付す場合は、**事務処理規程の作成が必要**です。



事務処理規程(試案)をご用意しました。当セミナーテキストと共にダウンロードしてご活用ください。

5. 「証憑保存機能」はスキャナ保存の保存要件にも対応

証憑保存機能は、紙で受領・発行した証憑を画像データで保存する**スキャナ保存の保存要件にも対応**しています。スキャナ保存制度の活用により業務の省力化に繋がります。



01 書類を整理する時間を減らせる

紙で受け取った請求書や領収書等のファイリングは不要です。書類をスキャン、または、スマホで撮影して電子データとして保存します。



02 書類の保管場所が不要になる

一定の要件の下、電子データで保存した書類は、**原本を破棄**できます。原本を破棄できるため保管場所や管理コストを削減でき、紛失リスクの軽減にもなります。



03 過去の書類をかんたんに探せる

書類を電子化することで検索がより簡単になります。過去の取引を探す手間がなくなり、業務の効率化につながります。

第2章 証憑保存機能の特長

1. “簡単” 証憑の保存

2. “安心” 証憑データの保管

3. “便利” 仕訳の計上

4. “万全” インボイス制度対応

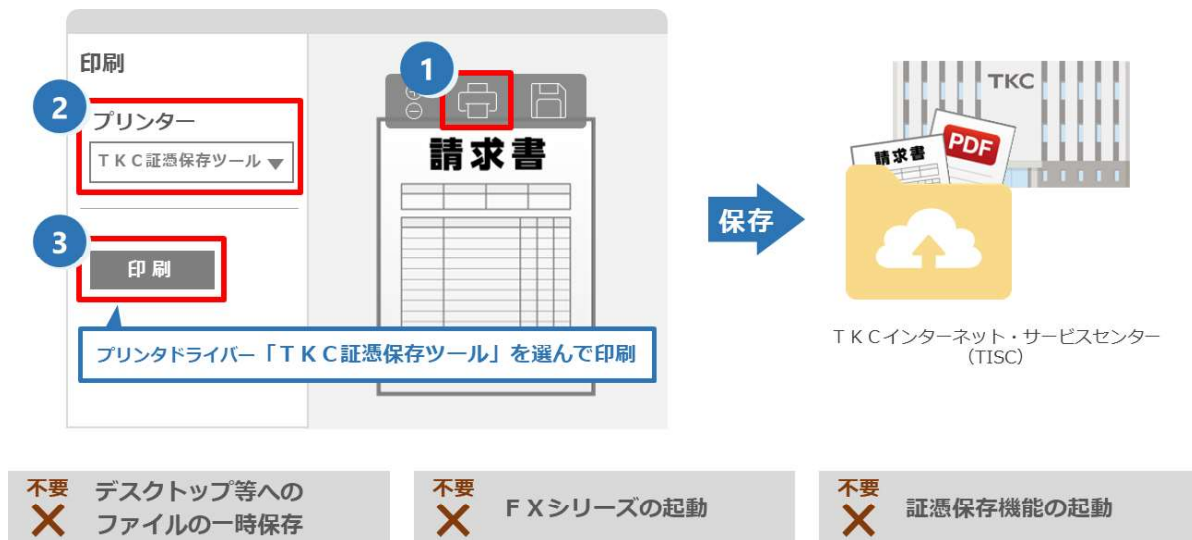
5. デジタルインボイスにも対応

(ご参考)ペポルインボイスとは

1. “簡単” 証憑の保存

(1) 電子取引データ

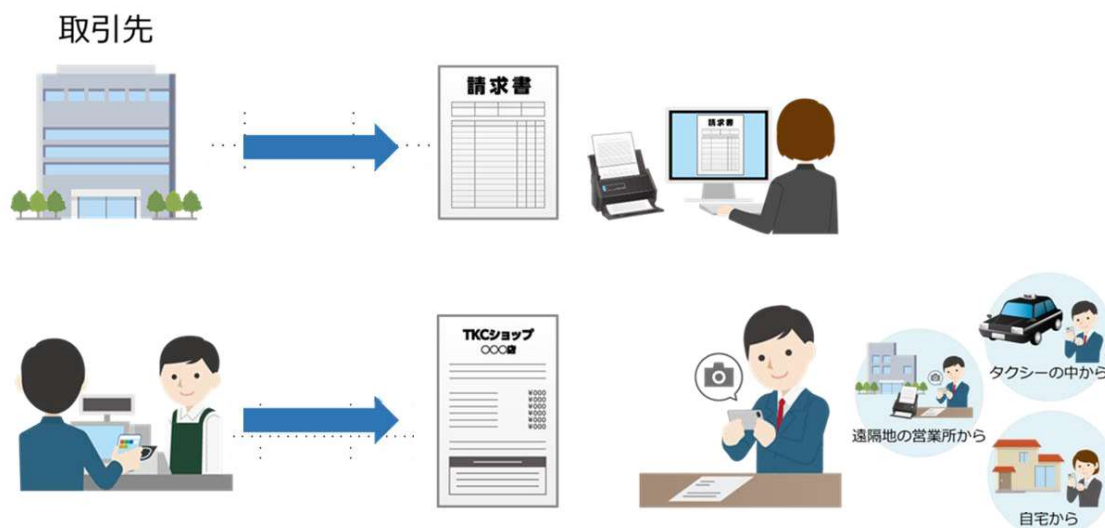
TKC証憑保存ツールにより印刷操作だけで簡単に保存できます。



1. “簡単” 証憑の保存

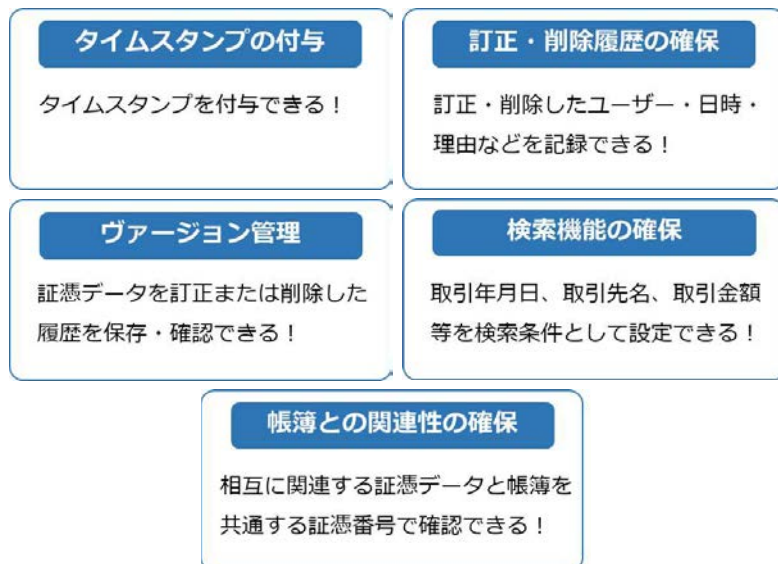
(2) 紙の証憑

スマートフォンの利用により自宅・外出先・営業所など、いつでもどこでも証憑を簡単に保存できます。



2. “安心” 証憑データの保管

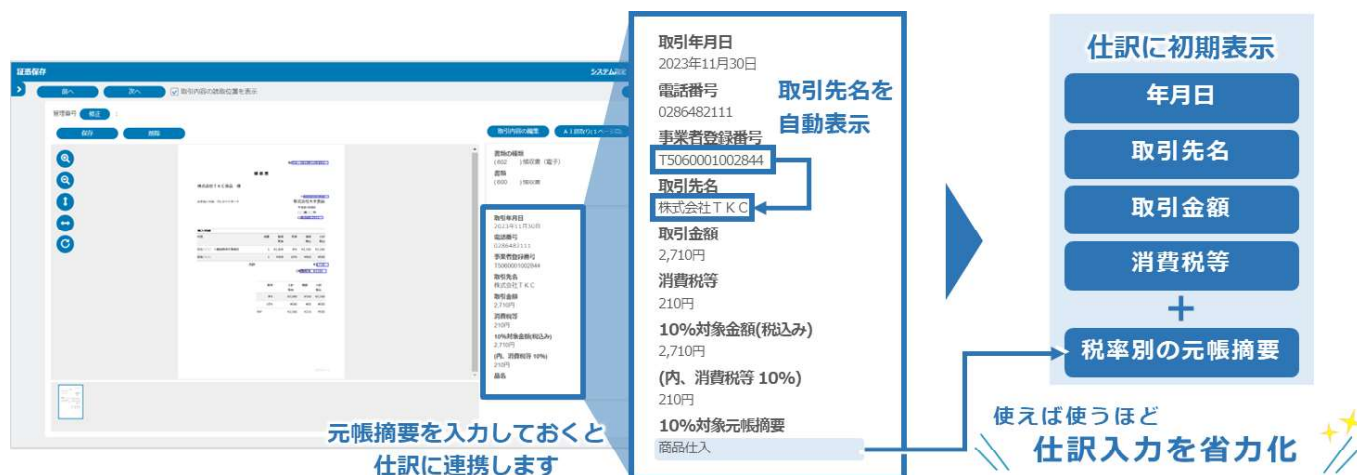
保存要件を満たした電子取引および画像データは、**世界最高水準の安全を実現**した「TKCインターネット・サービスセンター」で保管するため安心です。



3. “便利” 仕訳の計上

読み取った内容(取引年月日や取引先名、取引金額等)を**仕訳入力時に初期表示**します。不足する情報は隣に表示する証憑データを見ながら補正します。

補正した内容をシステムが学習するため、使えば使うほど便利になります。



3. “便利” 仕訳の計上

領収書等AI読取りオプションのご案内

領収書や請求書に記載されている内容を、**人工知能(AI)**を用いて**高い精度で読み取る**オプションシステムをご用意しています。

領収書等AI読取りオプションなら、
以下の内容も読み取りできるため、手入力および修正の手間を軽減できます。



領収書に**手書き**で記載された日付や取引金額



レシートに印字された**税率別**の取引金額や消費税額等



背景に**色や模様**がある請求書等の取引記録

4. “万全” インボイス制度対応

インボイスに記載の事業者登録番号を読み取り、公表サイト※の登録状況をシステムが自動チェックします。公表サイトに登録されている「氏名または名称」を取引先名に表示するため、**適格請求書発行事業者の实在性を確認**できます。

また、この情報をもとに取引先マスターを手間なく整備できます。

適格請求書発行事業者の实在性をシステムが自動でチェック



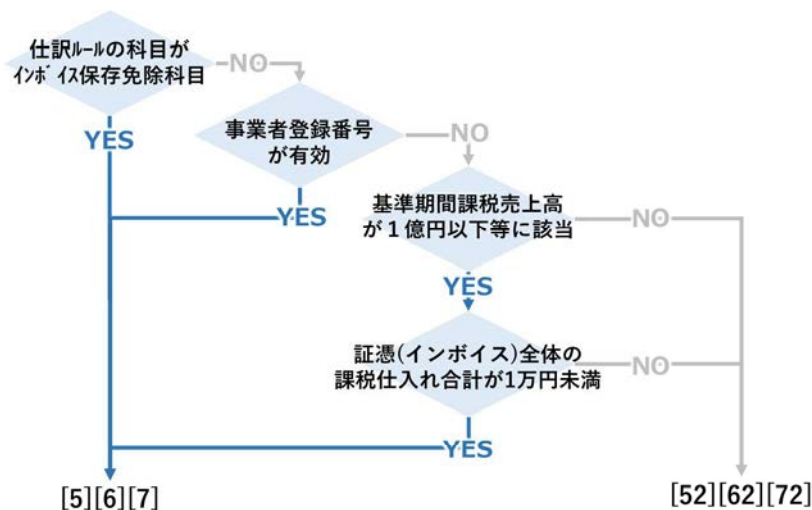
取引先マスターの整備



国税庁公表サイトの情報をもとに
取引先マスターを手間なく整備できます

4. “万全” インボイス制度対応

また、仕訳の計上時に「事業者登録番号の有効性」や「取引金額」などで
課税区分を自動判定(セット)するので、経理担当者の確認作業の負担を軽減します。



課税区分の自動判定フロー

5. デジタルインボイスにも対応

証憑保存機能は、ペポルインボイス※の受信にも対応しています。
ペポルインボイスは、受け取ったデータから自動で仕訳生成や計上ができるなど、今後の普及が
期待されるデジタルインボイスです。



—デジタルインボイスの送受信サービスを提供できるシステムベンダー第1号—
TKCはデジタル庁から**“国内初”**となる**「ペポルサービスプロバイダー」**に認定されました。

[ニュースリリースは、こちらをクリック](#) **Click!**

(ご参考)ペポルインボイスとは

ペポルインボイスとは、PDF等の電子インボイスと異なり、発行者名、品名、取引金額といったインボイスの記載事項が、コンピュータが読込可能な形式でセットされています。このため、受信したペポルインボイスから**仕訳を容易かつ正確に生成可能**で、経理業務の効率化が図れます。

紙の場合

売り手と買い手のそれぞれの郵便局を經由して送ります。



Eメールの場合

送信者と受信者のそれぞれのメールサーバーを經由して送ります。



ペポルインボイスの場合

売り手と買い手のそれぞれのアクセスポイントを經由して送ります。



第3章 立ち上げ手順

1. ご利用条件

2. 立ち上げの流れ

3. 各種登録方法【デモンストレーション】

4. 承認機能について

5. 承認機能の設定方法【デモンストレーション】

6. (ご参考)書類の分類・種類等の登録例

1. ご利用条件

(1) 利用可能なパソコン

証憑保存機能は、FX4クラウドの機能の一つであるため、FX4クラウドがインストールされているパソコンで利用できます。

(2) 同時接続数

FX4クラウドの同時接続ライセンスの範囲内で利用できます。
なお、スマホアプリでの利用は同時接続数のカウントに含みません。

(3) 会計事務所による初期設定

証憑保存機能は、会計事務所による初期設定が必要です。
そのため、ご利用の際は会計事務所にご相談ください。

2. 立ち上げの流れ

① 証憑保存機能の起動

FX4クラウドから証憑保存機能を起動します。

② TKC証憑保存ツールのインストール

プリンタドライバをインストールします。

③ 書類の種類・分類の登録

書類の種類(実際の書類名)と分類(領収書や請求書など書類の種類をグループでまとめる分類)を登録します。

④ 記録項目の登録

保存した画像の検索で使用する項目を登録します。一定の項目は初期登録されています。

⑤ 業務分類の登録

書類の種類の閲覧権限、書類の差替え権限、書類の削除権限を登録します。

⑥ メニュー権限の登録

システム設計・運用管理の各メニューを使用できる権限を登録します。

⑦ ユーザIDの登録

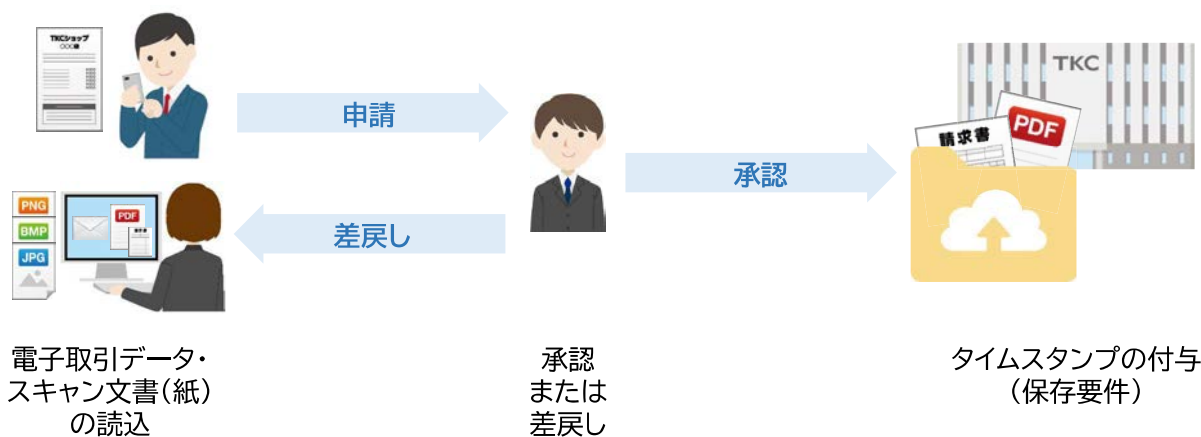
利用者のユーザIDおよびパスワードを登録します。また、業務分類やメニュー権限を各ユーザIDに割り当てます。

3. 各種登録方法



4. 承認機能について

証憑の保存の際に承認権者に承認を促し、**承認後にはじめて証憑が保存**されます。
これにより、証憑の保存を担当者の独断で行われること防止し、内部牽制を図れます。



5. 承認機能の設定方法



デモンストレーション

(ご参考)書類の分類・種類等の登録例

[illegible]

第4章 証憑の保存

1. 電子取引データ 「TKC証憑保存ツール」
2. 電子取引データ 「ファイル読込」
3. 紙の証憑 「スキャナー」
4. 紙の証憑 「スマホ撮影」

証憑の保存



デモンストレーション

第5章 仕訳の計上

1. 仕訳計上の流れ

2. 仕訳計上までの操作【デモンストレーション】

3. 計上仕訳の確認【デモンストレーション】

第5章 仕訳の計上

1. 仕訳計上の流れ

① 事前設定

仕訳を計上する書類の種類等を設定します。

② 証憑データの受信

事前準備で設定した書類の種類ごとに証憑データを受信します。

③ 仕訳の補正

不足している項目を横に表示された証憑を確認しながら補正します。

④ 仕訳の計上

補正後の仕訳をFX4クラウドに計上します。

2. 仕訳計上までの操作



デモンストレーション

3. 計上仕訳の確認



デモンストレーション

第1部のまとめ

令和6年1月から、メールやウェブサイト上でやり取りした請求書や領収書等の**電子取引データは、原則電子データのまま保存が必要**です。(電子取引データの電子保存義務化)

FX4クラウドの証憑保存機能にお任せください

- ・電子取引データおよびスキャナ保存の保存要件に完全対応(JIIMA認証取得)
- ・TKC証憑保存ツールやスマホカメラで簡単保存
- ・証憑データはTKCインターネットサービスセンターで安心保管
- ・証憑の取引内容を読み取り、仕訳に初期表示
- ・適格請求書発行事業者番号の実在性をチェックでインボイス対応も万全

証憑保存機能は、**制度対応**と**経理業務の効率化**をご支援します

【第2部のご案内】

第2部では、インボイス・マネジャー(FX4クラウド)をご紹介します。

インボイス・マネジャー(FX4クラウド)は、**証憑保存機能の機能を強化**したオプションシステムです。FX4クラウドを登録していないPCでの証憑保存、最大5段階の承認段階設定など、証憑保存機能の機能を**組織体系に合わせて柔軟に運用**されたいお客様は是非ご視聴ください。

第2部

インボイス・マネジャー（F X 4クラウド）

セミナー資料

第2部 インボイス・マネジャー(FX4クラウド)

※TKC経理業務 効率化セミナー2023夏(特別編)を
一部修正した内容です。

第2部 インボイス・マネジャー(FX4クラウド)

1. インボイス・マネジャー(FX4クラウド)とは
2. 証憑保存機能との違い
3. ペポルインボイスとは
4. 導入したユーザの声

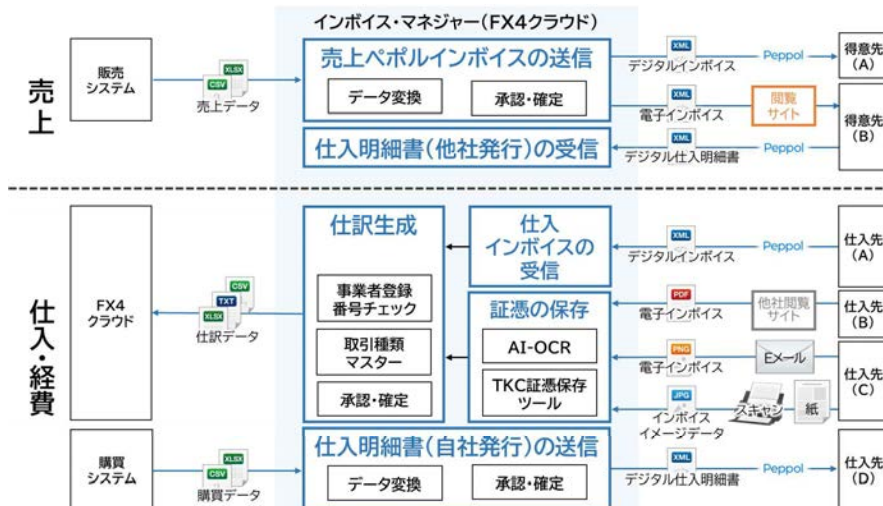
1. インボイス・マネジャー(FX4クラウド)とは

インボイス・マネジャー(FX4クラウド)とは、

組織に応じた柔軟な運用を実現するFX4クラウドのオプションシステムです。

経理業務のさらなるDXをご支援します。

利用開始後は、証憑保存機能に代わりインボイス・マネジャー(FX4クラウド)が起動します。



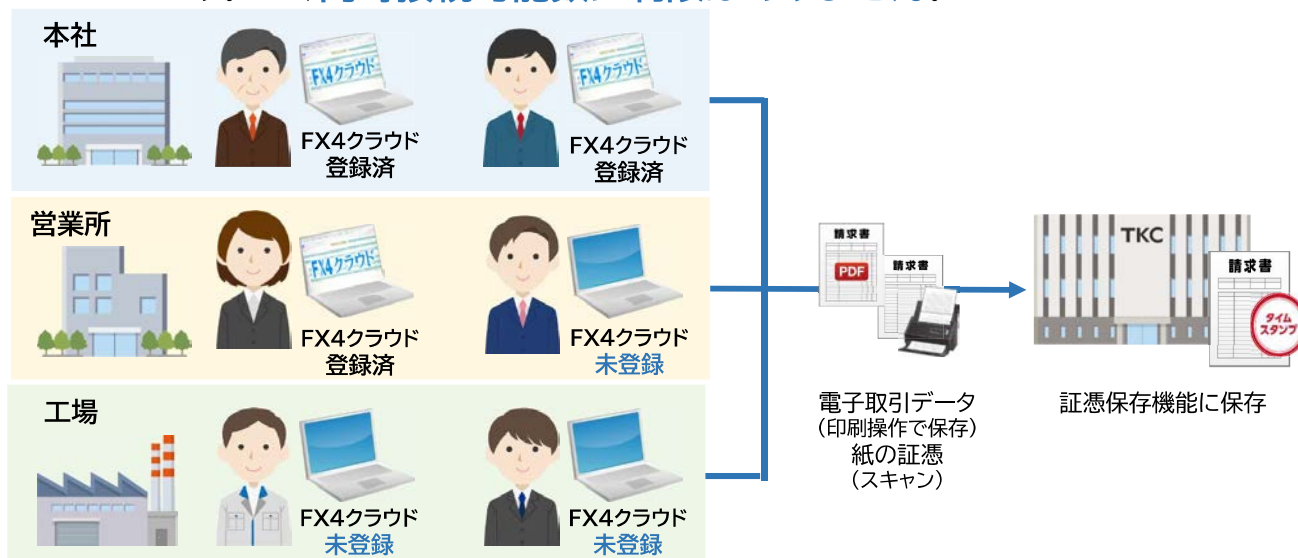
2. 証憑保存機能との違い

項目	行	証憑保存機能	インボイス・マネジャー
利用可能なパソコン	1	FX4クラウドが登録されているパソコン	制限なし
同時接続可能数	2	FX4クラウド同時接続ライセンスの範囲内	制限なし
承認段階	3	1段階	最大5段階
仕訳生成単位	4	証憑単位	証憑単位・明細単位
売上ペポルインボイスの送信	5	—	○

2. 証憑保存機能との違い

(1) 利用可能なパソコン・同時接続可能数

営業担当者などFX4クラウドを登録していない社員のパソコンからも証憑の保存ができます。また、**同時接続可能数に制限はありません。**



2. 証憑保存機能との違い

(2) 承認段階

「書類の種類」に応じて、**最大5段階の承認経路**が設定できます。また、承認段階ごとに複数の承認権者の登録ができます。



(最大5段階まで設定可能)

2. 証憑保存機能との違い

(3) 仕訳生成単位

「書類の種類」ごとに**仕訳計上パターン(証憑単位・明細単位)**の選択ができます。
明細単位で詳細な仕訳を計上する場合は、取引明細ごとに勘定科目や計上部門を設定します。

【書類の種類】

- ・経費 領収書(電子)
- ・経費 レシート(紙)

証憑単位

「鑑部(消費税内訳)」から計上

例) 会議費/現金 1,000 部門A



【書類の種類】

- ・仕入 請求書(紙)

明細単位

「明細部」から計上

例) 商品仕入/買掛金 5,000 部門A
商品仕入/買掛金 3,000 部門B
消耗品費/買掛金 2,000 部門C



(ご参考)

「鑑部」と「明細部」



明細単位で仕訳を計上する場合は、承認機能の利用が必要です

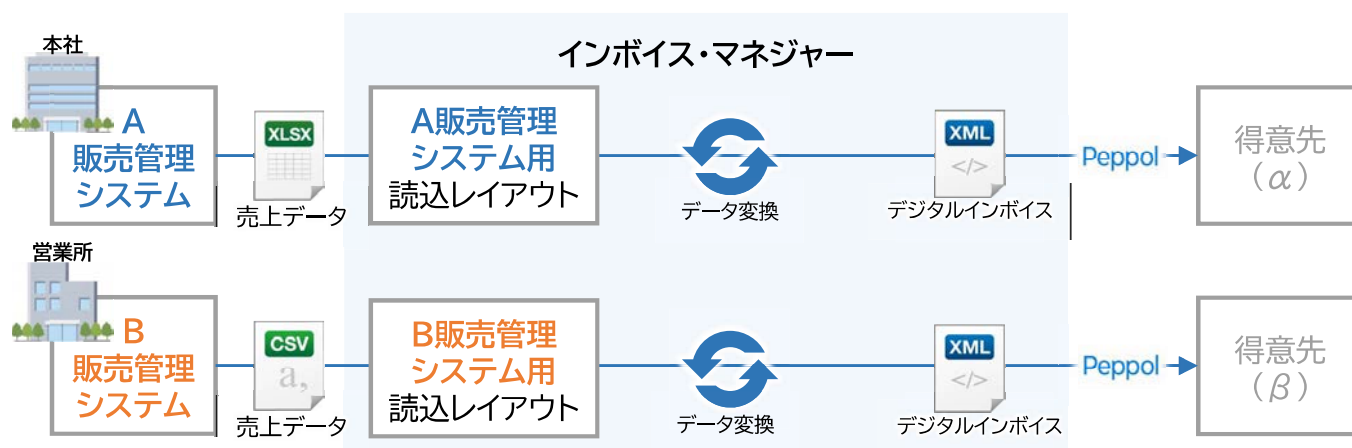
©TKC 2024

41

2. 証憑保存機能との違い

(4) 売上ペポルインボイスの送信

販売管理システムの売上データを変換して、得意先にペポルインボイスを送信できます。売上データを変換する読込レイアウトは、複数のレイアウト設計が可能です。そのため、部門や拠点ごとに異なる販売管理システムを利用している場合でも対応できます。



©TKC 2024

42

3. ペポルインボイスとは

ペポルインボイスとは、**ペポルネットワークで送受信する電子インボイス**のことです。

紙の場合

売り手と買い手のそれぞれの郵便局を経由して送ります。



Eメールの場合

送信者と受信者のそれぞれのメールサーバーを経由して送ります。



ペポルインボイスの場合

売り手と買い手のそれぞれのアクセスポイントを経由して送ります。



3. ペポルインボイスとは

(1) 特長

- ▶ アクセスポイントを経由して送受信を行います
- ▶ ペポルID(法人番号等の公的な番号)でやり取りします
- ▶ 利用申請が必要です
- ▶ 異なるシステム間でも送受信できます
- ▶ システムでデータを読み取り、仕訳を自動生成できます
- ▶ 適格請求書の要件を満たしているか自動でチェックします
- ▶ 郵便より安く、メールに埋もれることもありません

3. ペポルインボイスとは

(2) 送信者としてのメリット

✦発行に係るコストと手間の削減

【コスト例】

1件あたりの郵送料、TKCペポルインボイス送受信サービス ペポルインボイス送信料

・郵送 84円(定形郵便物25g以内)

・ペポルインボイス 44円(月間1,000件までの場合(税込))

✦「控え」のデータ保存容量の削減

✦送信先のIDの管理が容易(担当者の異動等に伴うメンテナンスが不要)

3. ペポルインボイスとは

(3) 受信者としてのメリット

✦受信したデータには、インボイスの記載事項が完全網羅

✦受信と同時に自動で保存

✦本社での集中管理

✦インボイスのデータ保存容量の削減

✦正確な仕訳生成による、業務効率(生産性)の向上

✦詳細な仕訳生成による、業績把握の際の詳細な原因分析

3. ペポルインボイスとは

(4) 利用申請

TKCのアクセスポイントを通して、ペポルネットワーク上のユーザーと電子文書の送受信を行うためには、ペポルネットワーク上で各ユーザーを識別する

「Peppol Participant ID(ペポルID)」の利用申請(取得)が必要です。

<ペポル利用申請方法>

証憑保存機能またはインボイス・マネジャー(FX4クラウド)から利用申請します。

メニュー「会社」の「ペポル利用申請」ボタンから申請手続きに進みます。

※ペポル利用申請手順の詳細動画をご用意しています。
「ペポル利用申請」ボタンから進んだ画面にある、
「Peppolとは?」からご視聴ください。

4. 導入したユーザの声



新規導入

「電子取引データの電子保存対応を検討」していた際に証憑保存機能が標準機能として搭載されていることを会計事務所の紹介で知った。
証憑保存機能と比較した結果、**自社の証憑承認フロー(部門長～経理担当者～経理責任者)に合わせた運用**ができるインボイス・マネジャーを導入した。



証憑保存機能
から切替

各拠点で受領した請求書や領収書等を全て本社の経理部門で取り込み(保存)していたので、「経理担当者に負担」が掛かっていた。
経理担当者以外のパソコンから証憑を保存できるインボイス・マネジャーへの切替により、**経理担当者の業務負担が軽減(保存作業がチェック作業に変化)**した。



新規導入

インボイス制度開始を機に「請求書を電子化したい」と考えていたが、一部取引の請求書は販売管理システムでは作成できずエクセル形式で発行していた。
様々なレイアウトの売上データをデジタルインボイスに変換・送信できるインボイス・マネジャーの導入により、**請求書様式の全社統一と電子化の実現**ができた。

第3部

F X 4 クラウド[2024年01月版]のご案内

セミナー資料

第3部

FX4クラウド[2024年01月版]のご案内

■目次

第1章 仕訳帳および元帳画面の改訂(事業者登録番号等の表示)

第2章 製造原価科目の固変区分の初期値変更

第3章 レシート入力方式の改訂

©TKC 2024

49

第1章 仕訳帳および元帳画面の改訂(事業者登録番号等の表示)

インボイスと仕訳を突合しやすくするため、仕訳帳・元帳画面に

「**適格請求書発行事業者の登録番号**」および国税庁の適格請求書発行事業者公表サイト上の「**氏名または名称**」を表示します。

「インボイス」ボタンで表示切替

月日	伝番	税	税率	借方科目	貸方科目	取引先名	元帳摘要	取引金額
10.1	1	5	10.0%	商品仕入 買掛金	TKC企業システム推進部	TKC	毎月商品仕入	330,000
10.1	2	5	10.0%	商品消費 買掛金	TKCサプライ事業部	TKC	備品購入	550,000
10.2	1	52	10.0%	商品仕入 買掛金	TKCサポート	TKC	機器メンテナンス	100,000
10.3	3	52	10.0%	商品仕入 買掛金	TKC商事	TKC	毎月商品仕入	220,000
10.31	11	5	10.0%	商品消費 買掛金	TKC出版	TKC	書籍購入	11,000

個人事業者の場合で、「屋号」が登録されている場合は「屋号(氏名又は名称)」を表示します

©TKC 2024

50

第2章 製造原価科目の固変区分の初期値変更

1. 固変区分(製造原価科目)の初期値が変わります
2. 365日変動損益計算書をご活用ください
3. 固定費・変動費とは
4. 365日変動損益計算書(利益管理表)の設計メニュー
5. 経理業務 効率化セミナー2021夏をご視聴ください

第2章 製造原価科目の固変区分の初期値変更

1. 固変区分(製造原価科目)の初期値が変わります

製造原価科目(一部)の固変区分の初期値を**固定費から変動費に変更**します。

コード	標準勘定科目名	固変区分(初期値)	
		現行	変更後
5441	外注加工費	変動費	変動費
5436	(空欄)	固定費	変動費
5437	(空欄)	固定費	変動費
5451	電力費	固定費	変動費
5452	ガス代	固定費	変動費
5453	水道料	固定費	変動費
5454	運賃	固定費	変動費
5455	減価償却費	固定費	固定費
5468	リース料	固定費	固定費
5456	修繕費	固定費	変動費
5457	租税公課	固定費	固定費
5458	賃借料	固定費	固定費
5459	保険料	固定費	固定費
5461	消耗品費	変動費	変動費
5462	旅費	固定費	変動費
5463	交通費	固定費	変動費
5464	通信費	固定費	変動費
5465	(空欄)	固定費	変動費
5466	(空欄)	固定費	変動費
5467	雑費	固定費	変動費

【対象となる科目】

製造原価科目の製造経費のうち、「減価償却費」「リース料」「賃借料」「租税公課」「保険料」を除き固変区分の初期値を変更します。

※損害保険料は契約に基づき一定額を支払うケースが多いため、「保険料」の初期値は固定費のままとします。

【お願い】固変区分の見直し

製造原価科目をご利用のお客様
現在の固変区分設定が適切なお客様もいらっしゃることから、
[2023年01月版]提供時に一括変更は行いません。
そのため、必要に応じて「利益管理表の設計」メニューから
設計内容の見直しをお願いします。

※製造原価科目を未利用の場合は、[2023年01月版]提供時に、変更対象科目の固変区分を一括変更します。

2. 365日変動損益計算書をご活用ください

FX4クラウドは「変動損益計算書」を採用しています。

通常の損益計算書と異なり、**経営者の感覚にフィットする粗利益(限界利益)**を一目で捉えることができます。

会社法に基づく「損益計算書」		FX4クラウドの「変動損益計算書」	
損益計算書 (千円)		変動損益計算書 (千円)	
I 売上高	289,322	I 売上高	289,322
II 売上原価		II 変動費	
商品仕入高	4,663	商品仕入高	4,663
材料費	57,187	材料費	57,187
人件費	44,120	外注費	82,905
外注費	82,905	消耗品費	1,544
減価償却費	1,765	III 限界利益	146,299
消耗品費	1,544	IV 固定費	
修繕費他	12,113	人件費(原価)	44,120
III 売上総利益	204,297	人件費(経費)	33,128
IV 販売管理費		販売費	4,605
人件費	33,128	償却費(原価)	1,765
販売費	4,605	償却費(経費)	2,048
減価償却費	2,048	その他固定費	24,478
その他経費	19,365	V 経常利益	110,144
V 経常利益	85,025		32,879

参考データ:『TKC経営指標』(設備工事業/優良企業)

©TKC 2024

53

3. 固定費・変動費とは

原価を変動費と固定費に区分することにより、**生産量等に左右されない採算性**をみることで、**損益分岐点売上高などの把握**にも役立ちます。

変動費とは

売上高の増減に伴って増減する費用
(材料費、商品仕入高、外注費、工場消耗品費など)

固定費とは

売上高の増減に関わらず一定額が必要となる費用
(人件費、地代家賃、支払利息、減価償却費など)

変動損益計算書の概念図



©TKC 2024

54

4. 365日変動損益計算書(利益管理表)の設計メニュー

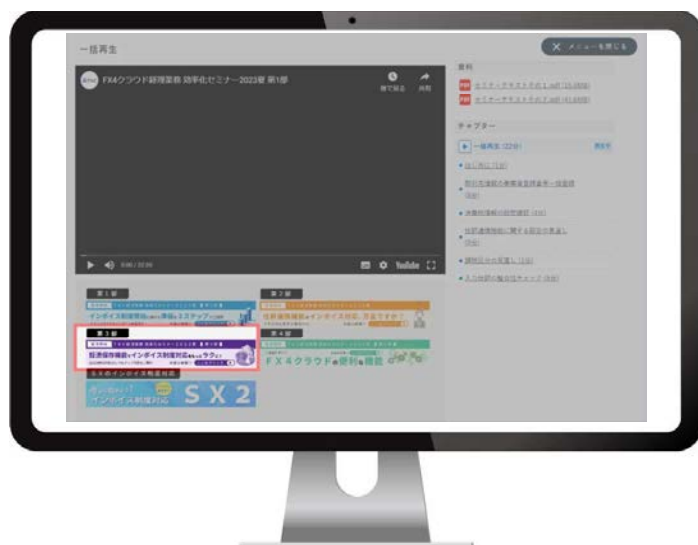
FX4クラウドの「会社情報」タブ-22「利益管理表の設計」メニューで固定区分の変更など、365日変動損益計算書の設計ができます。

設計や見直しについて、不明点がありましたら会計事務所にご相談ください。

利益管理表の設計

全社業績の問合せ(365日変動損益計算書)

5. 経理業務 効率化セミナー2021夏をご視聴ください



TKC経理業務 効率化セミナー
2021夏「第1部」をご視聴ください。
全社・部門別業績管理機能を詳しく
ご説明しています。



第3章 レシート入力方式の改訂

1. レシート入力方式とは

2. レシート入力方式の改訂内容

第3章 レシート入力方式の改訂

1. レシート入力方式とは

レシート入力方式は、インボイスに該当するレシートからの仕訳入力にあたり、最適な入力方式です。インボイスは、適格請求書発行事業者の登録番号(以下、事業者登録番号)が記載されるとともに、消費税等の端数処理が1件のインボイスにつき税率ごとに1回とされています。このことを踏まえ、レシート入力方式では、**事業者登録番号による仕入先の選択**や、**税率別の合計額から消費税等の計算**が可能です。

The screenshot shows the 'レシート入力方式' (Receipt Input Method) screen in the TKC software. It features a table for entering receipt data with columns for '年月日' (Date), '仕入先' (Supplier), '金額' (Amount), '税率' (Tax Rate), and '合計' (Total). The interface includes various input fields and buttons for navigating through the data entry process.

1. レシート入力方式とは



紹介動画(約5分)
[TKCオンデマンド研修サービス \(tkc.jp\)](https://tkc.jp)

2. レシート入力方式の改訂内容

「事業者登録番号」欄の右に、公表サイトの「氏名又は名称」を表示します。
 なお、個人で、かつ屋号が登録されている場合は、「屋号(氏名又は名称)」を表示します。

<現行>

レシート入力方式									
ファイル(F) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業績(D) 月次・年次(E) 経営計画(G) 会社情報(H) 表示(V) ウィンドウ(W)									
FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 6年 1月31日(水)									
年	月	日	証憑番号	事業者登録番号	取引先名	営業所名	実際の仕入れ年月日	記載金額	
5	10	31		T5060001002844	セブンマート	100154 鹿沼店	5年10月31日	○ 税抜	● 税込
借方	勘定科目/口座		課	税率	元帳摘要(仕入れ資産等の総称)		税込み金額	部門	
1	5211	商品仕入高	5	10.0%	原則 (課税商品・サービス等の仕入高)		2,200,000	共通部門	
2	6217	事務用消耗品	5	10.0%	事務用消耗品費		3,300,000	共通部門	

<改訂後>

レシート入力方式									
ファイル(F) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業績(D) 月次・年次(E) 経営計画(G) 会社情報(H) 表示(V) ウィンドウ(W)									
FX4 ABCオートサプライ株式会社 本日: 令和 6年 1月31日(水)									
年	月	日	証番	事業者登録番号	登録事業者名	取引先名(010154)	実際の仕入れ年月日	記載金額	
5	10	31		T5060001002844	株式会社アルコパレーノヴォ	セブンマート	5年10月31日	○ 税抜	● 税込
借方	勘定科目/口座		課	税率	元帳摘要(仕入れ資産等の総称)		税込み金額	部門	
1	5211	商品仕入高	5	10.0%	原則 (課税商品・サービス等の仕入高)		2,200,000	共通部門	
2	6217	事務用消耗品	5	10.0%	事務用消耗品費		3,300,000	共通部門	

2. レシート入力方式の改訂内容

「取引先名」欄の右に検索アイコンを置くことで、取引先マスターに登録されている
企業HP(URL)に接続しやすくしました。

取引先名(010154) セブンマート

年	月	日	証番	事業者登録番号	登録事業者名	取引先名(010154)	実際の仕入れ年月日	記載金額
5	10	31		T5060001002844	株式会社アルコバレーノヴォ	セブンマート	5年10月31日	税込

借方	勘定科目/口座	課	税率	元帳摘要(仕入れ資産等の税称)	税込み金額	部門
1	5211 商品仕入高	5	10.0%	原則(課税商品・サービス等の仕入高)	2,200,000	共通部門
2	6217 事務用消耗品	5	10.0%	事務用消耗品費	3,300,000	共通部門
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

貸方	勘定科目/口座	課	取引金額	税率	課	税抜き金額	消費税等	税込み金額	値引入力(F3)
1	1111 現金	0	5,500	10.0%	5	5,000	500	5,500	
2									
3									
4									
	計		5,500			5,000	500	5,500	

支払予定日 収支区分 仕訳番号 受注番号

♥ 収支区分を入力してください。

前項目 一覧 補引入力 仕訳確認 仕訳一覧 7/メニュー



取引先のHP

第4部

F X 4 クラウドの便利な機能

セミナー資料

第4部 FX4クラウドの便利な機能

■目次

第1章 「キャッシュレス納付」を支援する機能

第2章 経営者の「意思決定」を支援する機能

第3章 経理担当者の「経理業務」を効率化する機能

ご案内 TKCシステムまいサポート

第1章 「キャッシュレス納付」を支援する機能

1. キャッシュレス納付とは

2. TKC電子納税かんたんキット

1. キャッシュレス納付とは

キャッシュレス納付とは、国税および地方税を金融機関や税務署等の窓口に出向くことなく、**職場や自宅のパソコンから納付手続き**ができる納付方法です。

納付書の事前送付に関するお知らせ

令和6年5月以降に送付する分から、e-Taxにより申請書を提出している法人の方などについて、納付書の事前の送付を取りやめることとしております。納付書を使わずに納付ができ、簡単・便利なダイレクト納付などのキャッシュレス納付の手続きをご用意しておりますので、是非ご利用ください。

《事前送付を行わないこととなる方》

- e-Taxにより申告書を提出されている法人の方
- e-Taxによる申告書の提出が義務化されている法人の方

FX4クラウドをご利用のお客様は、

「TKC電子納税かんたんキット」でキャッシュレス納付に対応いただけます。

TKC電子納税かんたんキットは、納付事務にかかる手間を省力化します。

2. TKC電子納税かんたんキット

TKC電子納税かんたんキットは、わかりやすい業務フローで電子納税を行うための**事前準備から実際の電子納税までを支援**するシステムです。

FX4クラウドをご利用のお客様は、無償で利用いただけます。

Before  **窓口**
After  **オフィス**

銀行窓口に行かずにかんたん納税
職場や自宅のパソコンから納税
できるため、金融機関等の窓口
に納付書を持参する必要がなく、
納付事務にかかる手間を省力化

Before  **納付書**
After  **TKC電子納税かんたんキット**

納付書への手書きは不要
源泉所得税、個人住民税、法人
税、消費税などのデータを連携
できるため、納付書の手書きは
不要



複数の市区町村へ一括納税
一度の手続きで複数の市区町村
への電子納税を完結

振込手数料
0円

振込手数料はゼロ
電子納税では振込手数料が無料。
また、ダイレクト納付を利用する場
合、インターネットバンキング契約
も不要。

Before  **納付書**
After  **電子納税履歴**

電子納税履歴をいつでも確認可能
電子納税の結果はシステム内に
データ保存されるため、履歴を
いつでも確認可能

2. TKC電子納税かんたんキット



約2分
動画再生 | TKCグループ

第2章 経営者の「意思決定」を支援する機能

1. 業績管理機能

2. マネジメントレポート設計ツール

3. スマート業績確認機能

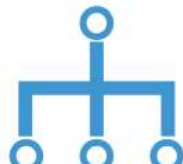
1. 業績管理機能

「目標利益に対する必要な打ち手」「売上高の増減に関わらず一定額が必要となる費用」「経営資源を投下する部門」など、**経営者の意思決定を支援**する業績管理機能を搭載しています。



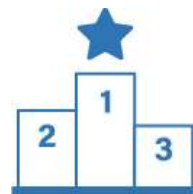
365日変動損益計算書

通常の損益計算書と異なり、経営者の感覚にフィットする粗利益(限界利益)を一目で確認できます。また、目標売上高、目標経常利益を入力することで、期末までに必要な売上高、戦略的に活用できる金額、圧縮が必要な固定費を確認できます。



部門別業績管理

会社全体の数字だけでなく部門単位に確認することで、部門ごとの売上高、限界利益、固定費、経常利益などの状況をタイムリーかつランク形式で確認できます。



得意先順位月報

売上金額の得意先順位表を把握できます。移動合計が直近2か月連続して減少した得意先を注意顧客として自動抽出します。部門長による利用を想定し、担当部門で最も売上が多かった得意先、取引が大幅に減少した得意先などを把握できます。

2. マネジメントレポート設計ツール

Excelに特有の関数をセットするだけで、FX4クラウドの最新データを取得できます。さらに、Excel標準の機能も使えるため、**自社オリジナルの経営会議資料**などを作成することができます。



最新データの取得

Excelの操作だけで常にFX4クラウドの最新の実績や予算などを取得できるため、帳表作成時の工数や集計ミスなどのリスクを低減させることができます。

FX4クラウドの起動は不要

特有の関数がセットされたExcelファイルは、FX4クラウドを起動することなく最新の実績や予算などを取得できます。

報告用ファイルの作成

MR設計ツールを使ったExcelファイルは、FX4クラウドを利用許可されている方のみ閲覧できます。FX4クラウドを利用されていない方には、特有の関数を除いた報告用ファイルを提供することで閲覧ができます。

3. スマート業績確認機能

出張や外出先でもお持ちのスマートフォンやタブレットで**最新業績をいつでも確認**できます。



全社の業績が一瞬でわかる

速報性の高い情報を中心に、経営者が気になる数字をダッシュボード表示します。
時間がない場合は、これだけを見れば業績の概要が把握できます。気になる数字をタップすれば、詳細も確認できます。

キャッシュフローが見える

口座別の残高、さらに、各口座の取引明細まで確認できます。外出先でも預金の入出金を確認できるため、取引先への連絡が必要な場合など、スピーディに対応できます。

当期決算の先行き管理ができる

売上高・限界利益・経常利益の実績など、経営者の知りたい数字を、「累計残高」「移動合計」「各月発生」の各グラフで確認できます。さらに「このままいったらどうなるか」という予測値と計画値を比較できます。

スマート業績確認機能の利用条件は、コチラをご確認ください<https://www.tkc.jp/fx/smart/>

©TKC 2024

70

第3章 経理担当者の「経理業務」を効率化する機能

1. 銀行信販データ受信機能

2. 仕訳読込テンプレート設計機能

3. Excelからの仕訳計上機能

4. 支払管理機能

5. 証憑保存機能

6. 戦略給与情報システム(PXシリーズ)

1. 銀行信販データ受信機能

複数の金融機関(銀行や信販会社)からインターネットを利用して取引データを自動受信できます。
さらに、その取引データをもとに仕訳をかんたんに計上できます。



仕訳ルールの学習

仕訳計上時に補正した内容をシステムに学習します。
次回以降、同種の取引データを読み込んだ際には、学習した仕訳が表示され入力を支援します。

仕訳の二重計上防止

口座への預入、引出、振替取引など受信した取引データとシステムに計上済みの仕訳を突合し、仕訳の重複を自動チェックします。

銀行口座の実際残高と帳簿残高の検証

銀行口座の実際の残高と、受信した取引データを全て計上した場合の帳簿残高が一致することを一目で確認できるので、二重仕訳を除外できます。

対応金融機関一覧は、こちらをご確認ください<https://www.tkc.jp/fx/fintech/bank/>

©TKC 2024

72

2. 仕訳読込テンプレート設計機能

他社業務システムから切り出したデータを加工することなく容易にデータ連携ができます。



整合性チェック

漏れや重複を防止するために、仕訳連携時に以下のチェックを行います。
「自動仕訳番号の連続性チェック」「ファイルのタイムスタンプのチェック」「同一仕訳のチェック」

各種変換表

業務システムとFX4クラウドでマスターコードなどが異なる場合でも、システム内でFX4クラウドのコードに変換することができます。
(勘定科目・部門・取引先・課税区分)

仕訳読込履歴と計上金額の確認

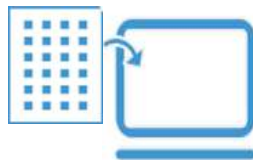
業務システムごとにカレンダー形式で読込履歴を確認できます。
また、取引年月日ごとに勘定科目別の集計結果も確認できます。

©TKC 2024

73

3. Excelからの仕訳計上機能

出納帳や日報などExcelで作成した管理資料から直接FX4クラウドに仕訳を計上できます。



FX4クラウドの起動は不要

Excelで作成した仕訳ファイルを、Excelが開いた状態でFX4クラウドに仕訳を直接計上できます。その際、FX4クラウドを起動する必要はありません。

仕訳に計上元ファイルの画像を保存

計上元になったExcelの仕訳ファイルの画像が、計上した仕訳に自動で保存されます。これにより、仕訳の画面から当該仕訳の計上元ファイルを確認することができます。

MR設計ツールと組み合わせた運用も可能

MR設計ツールにより取得したFX4クラウドの残高や発生額をExcel内で計算させ、結果をそのまま仕訳計上することもできます。
例)MR設計ツールで取得した科目残高を基に部門配賦額をExcelで計算させ、計算結果を計上する等

4. 支払管理機能

全ての支払に関して、支払予定登録から支払の実行、仕訳計上まで、**支払管理業務の一元管理**ができます。



支払予定カレンダー

買掛金等の支払予定は、仕訳計上時に支払予定日を入力することで、カレンダー形式の支払予定表に登録されます。なお、取引先ごとに取引約定を事前に登録しておくことで、支払予定日を自動で表示させることができます。

定期支払の登録

家賃等の定期的な支払と借入金の返済予定について、事前に支払条件等を登録しておくことで、契約全期間にわたる支払予定が自動で登録されます。

総合振込依頼データの作成

承認された支払予定に従って、インターネットバンキング用の総合振込依頼データまたは総合振込依頼書の作成ができます。

5. 証憑保存機能

電子取引データや紙の証憑をTKCのデータセンターに保存できる

「電子取引データの電子保存義務化」の対応に最適なFX4クラウドの標準機能です。

※詳しくは、**経理業務効率化セミナー2024春 第1部**をご視聴ください



かんたんデータ保存

紙で受け取った請求書や領収書等は、スキャン・スマートフォンで撮影するだけでかんたんに電子データとして保存できます。また、電子取引データは、TKC証憑保存ツールを利用することで印刷操作だけで保存ができます。

仕訳をかんたん入力

読み取った内容を仕訳入力時に初期表示します。不足する情報は、電子データを見ながら補正入力できるので、効率的です。

インボイス制度、電子取引データ保存義務化に対応

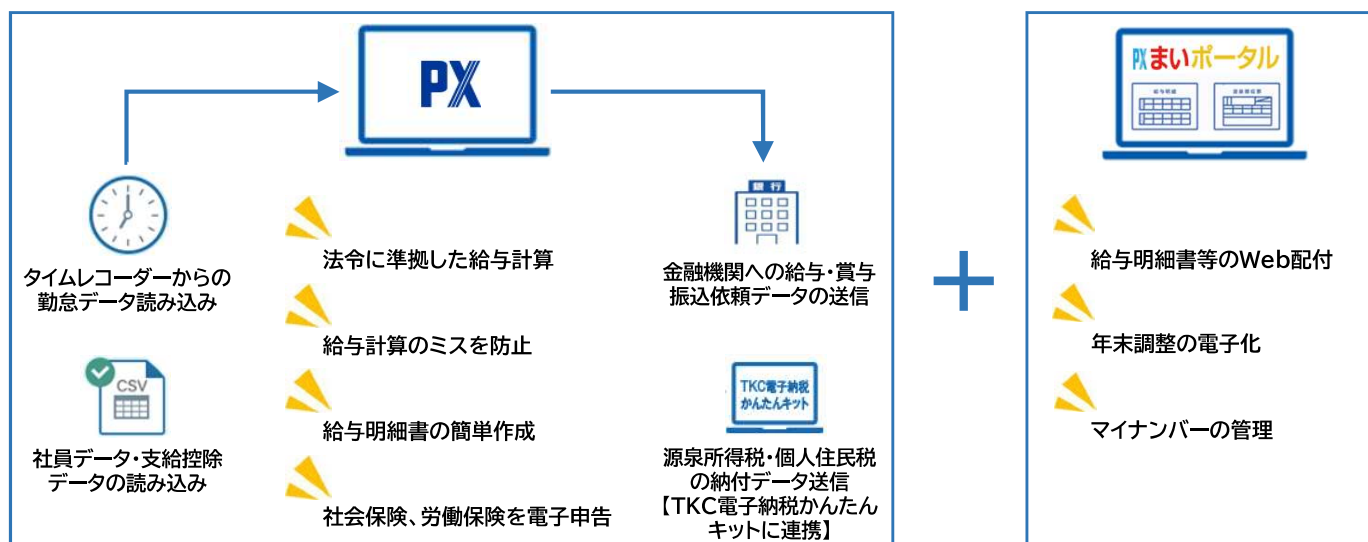
事業者登録番号のOCR読み取り、事業者登録番号の有効性チェックなどインボイス制度後の手間が軽減され経理処理がラクになります。また、令和6年1月からの電子取引データの保存義務化対応も安心です。

6. 戦略給与情報システム(PXシリーズ)

役員・正社員・パート等、異なる給与体系に柔軟に対応し、**効率的な給与計算業務を実現**します。

また、PXまいポータル(オプション)を利用することで、年末調整に関する申告書の配付・回収、給与明細の**ペーパーレス化**が可能です。

PXシリーズなら、令和6年6月開始予定の「定額減税」の対応も安心です。



ご案内 TKCシステムまいサポート

TKCシステムまいサポートは、TKCの専門スタッフがTKCシステムをご利用のお客様の問い合わせに直接電話で回答するサービスです。

機能概要や操作方法で不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。



メール

ご利用中のシステムから質問を送信。
TKCより折り返しお電話します。

- ご質問の受付：24時間365日
- お電話での回答：平日10～16時



IP電話

IP電話でのご質問に直接回答します。

- サービス時間：平日9～18時



TKCヘルプデスクの委託先であるTKCカスタマーサポートサービス株式会社は、HDI-Japan「クオリティ格付け」で3年連続**最高評価三つ星**を獲得しています。

END

証憑保存機能システム利用マニュアル

証憑保存機能システム利用マニュアルについて

証憑保存機能の利用方法や
事前設定の手順について記載した資料です。

証憑保存機能
システム利用マニュアル
[2024年01月版]

Ⅲ システム設定・運用管理

1. 各メニューの説明

< 画面 >



利用開始時の事前設定を行います。

< 操作説明 >

(1) タイトルバー

- ① メインメニュー
各帳の保存・閲覧画面（「売上関係の書類」「仕入・経費関係の書類」「その他の書類」）、「全帳簿」「保存申請中の書類の確認」「承認」を開くことができます。
- ② システムQ&A
システムQ&Aには、問い合わせが多い質問に対する回答等を適宜掲載していますので、ご確認ください。

(2) サイドメニュー



各サイドメニューには、次のメニューを配置しています。

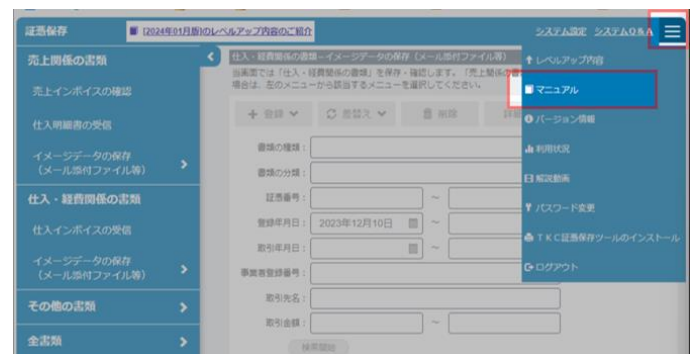
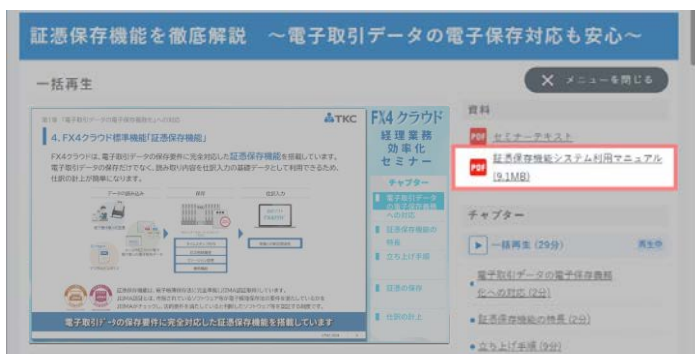
行	サイドメニュー	メニュー名
1	会社情報	① 会社 ② 事業年度
2	連携システム	① 取引内容の連携システム ② 取引内容の読み込みレイアウト
3	書類の設定	① 承認経路 ② 書類の分類 ③ 記録項目 ④ 記録項目の選択（書類の分類と記録項目の紐づけ）

ダウンロード方法

次のページ、メニューからダウンロードしてご利用ください。

経理業務 効率化セミナー 2024 春
第1部「証憑保存機能を徹底解説」
視聴ページから

証憑保存機能
ハンバーガーメニューから



F X 4 クラウドシステム解説書・操作説明書

セミナーでご紹介した機能にかかる「F X 4 クラウドシステム解説書(第41版)」と「F X 4 クラウド操作説明書(第42版)」の抜粋を掲載します。
(注)項目名、章及び項番はそのままとしています。

なお、「F X 4 クラウドシステム解説書(第41版)」および「F X 4 クラウド操作説明書(第42版)」は、F X 4 クラウドの「ヘルプ」メニューにある「システム解説書」ならびに「操作説明書」をクリックで確認いただけます。



1. 7 レシート入力方式

令和5年10月1日以降、インボイスから仕訳を入力する機会が多くなります。インボイスは、これまでの請求書等と異なり、適格請求書発行事業者の登録番号(以下、事業者登録番号)が記載されるとともに、消費税等の端数処理が1件のインボイスにつき税率ごとに1回とされています。レシート入力方式は、このようなインボイスの明細からの仕訳入力にあたり、最適なインターフェイスを志向し、搭載しました。

- (1) 仕入先から受領したレシート等からの入力に特化した機能です。
- (2) インボイスの記載金額をそのまま入力することで仕訳計上できます。税抜き／税込みのいずれにも対応できます。
- (3) 同じ取引先で過去に入力した仕訳をもとに入力できます。勘定科目や元帳摘要が初期表示されますので、かんたんに仕訳を入力できます。

レシート入力方式

FX社 株式会社T K C 製品

本日: 令和 5年11月10日(金)

取引先名 (仕入先の氏名又は名称) ホームセンター エイム株式会社

実際の仕入れ年月日 5年11月10日

記載金額 0.000

税率 10.0%

元帳摘要 (仕入れ資産等の総称) 文具等

税抜き金額 0.000

部門 共通部門

備品消費品費 5 10.0% 消耗品

0.000 共通部門

入力する仕訳をキーで選択し、エンターキーで確定してください。
なお、確定後は[F7 過去仕訳]ボタンから選択し直せます。

貸方 勘定科目/口座名 課 取引金額

1 1111 現金 0 0

2 3 0

3 4 0

計 0

借方 勘定科目/口座名 課 税率 課 税抜き金額 消費税等 税込み金額

1 6217 事務用消耗品 5 10.0% 文具等 0.000 0.000 0.000

2 6225 備品消費品費 5 10.0% 消耗品 0.000 0.000 0.000

計 0 0 0 0

支払予定日 収支区分 証憑番号

前項目 値入力 仕訳確認 F7メニュー

- (4) 新たな仕入先から受領したインボイスから入力する際、事業者登録番号欄に入力した番号による国税庁サイトの検索結果から、当該仕入先を、取引先マスターに簡単に登録できます。

取引先の登録・修正

事業者登録番号 T 7013301000925

取引先名・住所から法人番号及び事業者登録番号を検索

法人番号 0013301000925

◆ 国税庁の公表サイトの情報を検索できます。

国税庁の公表サイト上の情報

氏名又は名称 日本ホテル株式会社

住所 〒171-0021 東京都豊島区西池袋1丁目8番1号

電話番号1 電話番号2

取引先名 日本ホテル株式会社

営業所名

住所 〒171-0021 東京都豊島区西池袋1丁目8番1号

電話番号1 電話番号2

取引関係 仕入先

登録日 令和 5年 10月 2日

OK キャンセル

法人番号を入力してください。

前画面

- (5) 電卓機能を利用できます。レシートの明細を勘定科目や課税区分別に合算して入力する際に便利です。

レシート入力方式

FX2 株式会社TKC食品

年 月 日 伝票番号 事業者登録番号 取引先名 (仕入先の氏名又は名称) 実際の仕入れ年月日 記載金額

5 11 10 4 T307000XXXXXX ホームセンター エイム株式会社 000005 5年11月10日 税抜 税込

借方 勘定科目/口座名 課 税率 元帳摘要 (仕入れ資産等の総称) 税抜き金額 部門

1 6217 事務用消耗品 5 10.0% 文房具等 1,820 000 共通部門

2 6225 備品消耗品費 5 10.0% 消耗品 770 000 共通部門

3 6228 5 軽 8.0% 会議用飲料 1,020 000 共通部門

貸方 勘定科目/口座名 課 取引金額 税率 課 税抜き金額 消費税率 税込み金額 値引入力(F3)

1 1111 現金 0 3,950 10.0% 5 2,590 259 2,849

2 軽 8.0% 5 1,020 82 1,102

計 3,950 計 3,610 341 3,951

支払予定日 収支区分 証憑番号

02 経常支出 12 その他

心 日を入力してください。

F1 前項目 F2 値引入力 F4 仕訳確認 F7 過去仕訳 F9 メニュー

- (6) インボイスの端数処理と同様、すべての明細を税率別に集計した金額から消費税等を自動計算します。

レシート入力方式

FX2 株式会社TKC食品

年 月 日 伝票番号 事業者登録番号 取引先名 (仕入先の氏名又は名称) 実際の仕入れ年月日 記載金額

5 11 10 4 T307000XXXXXX ホームセンター エイム株式会社 000005 5年11月10日 税抜 税込

借方 勘定科目/口座名 課 税率 元帳摘要 (仕入れ資産等の総称) 税抜き金額 部門

1 6217 事務用消耗品 5 10.0% 文房具等 1,820 000 共通部門

2 6225 備品消耗品費 5 10.0% 消耗品 770 000 共通部門

3 6228 5 軽 8.0% 会議用飲料 1,020 000 共通部門

貸方 勘定科目/口座名 課 取引金額 税率 課 税抜き金額 消費税率 税込み金額 値引入力(F3)

1 1111 現金 0 3,950 10.0% 5 2,590 259 2,849

2 軽 8.0% 5 1,020 82 1,102

計 3,950 計 3,610 341 3,951

支払予定日 収支区分 証憑番号

02 経常支出 12 その他

心 日を入力してください。

F1 前項目 F2 値引入力 F4 仕訳確認 F7 過去仕訳 F9 メニュー

- (7) 税抜き入力の場合の消費税等の端数処理は、貸借差額から自動判定します。

レシート入力方式

FX2 株式会社TKC食品

年 月 日 伝票番号 事業者登録番号 取引先名 (仕入先の氏名又は名称) 実際の仕入れ年月日 記載金額

5 11 10 4 T307000XXXXXX ホームセンター エイム株式会社 000005 5年11月10日 税抜 税込

借方 勘定科目/口座名 課 税率 元帳摘要 (仕入れ資産等の総称) 税抜き金額 部門

1 6217 事務用消耗品 5 10.0% 文房具等 1,820 000 共通部門

2 6225 備品消耗品費 5 10.0% 消耗品 770 000 共通部門

3 6228 5 軽 8.0% 会議用飲料 1,020 000 共通部門

貸方 勘定科目/口座名 課 取引金額 税率 課 税抜き金額 消費税率 税込み金額 値引入力(F3)

1 1111 現金 0 3,950 10.0% 5 2,590 259 2,849

2 軽 8.0% 5 1,020 82 1,102

計 3,950 計 3,610 340 3,950

支払予定日 収支区分 証憑番号

02 経常支出 12 その他

心 消費税率を確認してください。

F1 前項目 F2 値引入力 F4 仕訳確認 F7 過去仕訳 F9 メニュー

四捨五入	3,951 円	10%	2,590 + 259 = 2,849 円
		軽 8%	1,020 + 82 = 1,182 円
切り捨て	3,950 円	10%	2,590 + 259 = 2,849 円
		軽 8%	1,020 + 81 = 1,181 円
切り上げ	3,951 円	10%	2,590 + 259 = 2,849 円
		軽 8%	1,020 + 82 = 1,182 円

(8) 伝票(1伝票型)や複合仕訳等、他の仕訳入力画面と切り替えて利用できます。

1. 9 「8 レシート入力方式」

1. 9. 1 概要

レシート入力方式は、インボイスに該当するレシートからの仕訳入力にあたり、最適なインターフェースです。インボイスは、適格請求書発行事業者の登録番号(以下、事業者登録番号)が記載されるとともに、消費税等の端数処理が1件のインボイスにつき税率ごとに1回とされています。このことを踏まえ、レシート入力方式では、事業者登録番号による仕入先の選択や、税率別の合計額から消費税等の計算が可能です。

- ①領収書等に記載されている基本情報(年月日、取引先等)を入力します。
- ②課税仕入れなどに関する情報(科目、元帳摘要、金額等)を入力します。
- ③支払に関する情報(科目、金額等)を入力します。
- ④税率別の合計金額が正しいことを確認します。

1. 9. 2 「レシート入力方式」画面

(1) 操作方法

①事業者登録番号と取引先名

領収書等に記載されている適格請求書発行事業者の登録番号を入力します。

1) 最初の 3 桁を入力すると、取引先マスターに登録済みの適格請求書発行事業者の登録番号及び過去にレシート入力方式で入力した取引先が検索されます。

2) 入力する取引先を選択します。すると、取引先名が複写されます。

3) 該当する取引先がない場合、適格請求書発行事業者の登録番号を 13 桁入力すると、国税庁の公表サイトの情報を検索できます。

4) 公表サイトに登録されている「氏名又は名称」と領収書等に記載されている名称が異なる場合は、[名称・所在地から Web 検索] ボタンをクリックすると、「氏名又は名称」及び「所在地」を Web で検索します。

5) 当事業者でよい場合は、[はい] ボタンをクリックします。また、必要に応じて、取引先名欄で取引先名を変更します。

6) 続けて、取引先の登録画面が表示されます。検索結果が初期表示されますので、レシートに記載されている情報をもとに取引先を登録します。

取引先一覧

検索 [F4] 全 [F5] 電話帳 事業主明細 フォント検索

全 | ア | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | ワ | 他 | 検 |

順	取引先名	営業所名	住所	電話番号	事業者番号(T+)	コード
(取引先を直接入力)						
その他取引先						
67	株式会社T.K.C	池	栃木県宇都宮市鶴田町1-7	506001002844	000001	999999
68	日本ホテル株式会社		東京都豊島区西池袋1丁目	701230100325	000002	

取引先を選択してください。

前画面 氏名名称

7) 取引先名欄で、取引先マスターから取引先を選択することもできます。

②記載金額

レシート入力方式

FX4 改正消費税法対応確認用マスター

本日: 令和 5年10月2日(月)

年	月	日	証番号	事業者登録番号	取引先名	営業所名	実際の仕入れ年月日	記載金額
5	10	2		T7013301000325	日本ホテル株式会社	000002		税抜 税込

番号	勘定科目/口座	課	税率	元帳摘要(仕入れ資産等の総称)	税抜き金額	部門
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

貸方	勘定科目/口座	課	取引金額	税率	課	税抜き金額	消費税等	税込み金額	値引入力(F3)
1									
2									
3									
4									
計			0			0	0	0	貸借差額

支払予定日 収支区分 証番号 受注番号

記載金額を選択してください。

前項目 値引入力 仕訳確認 7/8メニュー

1) 領収書等に記載されている金額(レシート入力画面で入力する金額)を「税抜」又は「税込」から選択します。

2) 初期値は「税込」です。なお、過去にレシート入力方式で取引を入力したことがある取引先は、前回選択した値が初期選択されます。

③入力済仕訳の選択

過去にレシート入力方式で入力した仕訳の取引先について同様の仕訳を簡単に追加に計上できるよう、当該取引先が含まれる入力済の仕訳を選択して入力できます。この場合、金額及び部門明細等を入力するだけで仕訳計上できます。

レシート入力方式

FX4 A B C オートサプライ 株式会社

本日: 令和 5年10月31日(火)

年	月	日	伝票番号	事業者登録番号	取引先名(仕入先の氏名又は名称)	実際の仕入れ年月日	記載金額
5	10	31	1	T5060001002844	株式会社T.K.C	5年10月31日	税抜 税込

番号	勘定科目/口座	課	税率	元帳摘要(仕入れ資産等の総称)	税抜き金額	部門
1	5211 商品仕入高	5	10.0%	原則 (課税商品・サービス等の仕入高)	0.000	共通部門
2						
3						
4						
5						
6						
7						
10						

貸方	勘定科目/口座	課	取引金額	税率	課	税抜き金額	消費税等	税込み金額	値引入力(F3)
1	2112 買掛金	0	0						
2									
3									
4									
計			0			0	0	0	貸借差額

支払予定日 収支区分 証番号 受注番号

入力する仕訳を←キーで選択し、Enterキーで確定してください。
なお、確定後は[F7 仕訳一覧]ボタンから選択し直せます。

前項目 値引入力 仕訳確認 仕訳一覧 7/8メニュー

1) キーボードの[←][→]キーをクリックし、最大過去10回分の取引から選択します。初期表示される取引は直近で入力した取引です。

2) 新規取引を入力する場合は、1番左又は1番右(取引が表示されていない画面)に移動してEnterキーをクリックします。

3) 過去仕訳は、[F7 過去仕訳]ボタンをクリックしても選択できます。

④取引金額（借方）

レシート入力方式では、明細から金額を集計できるよう、電卓機能を利用できます。常に電卓が表示されますので、必要に応じて加算「+」、減算「-」してください。

⑤取引金額（貸方）

- 1) 過去にレシート入力方式で取引を入力したことがある取引先の場合、前回入力した勘定科目及び口座が初期表示されます。
- 2) 税入入力の場合、借方の合計額が初期表示されます。

⑥税率別の合計金額欄

- 1) 税率別、課税区分別に合計金額が表示されます。1つの税率で、課税区分が複数入力されている場合は、税率別の小計行も表示されます。
- 2) 「消費税等」欄は、課税区分[52][62][72]の場合や税入入力の場合は修正できません。税抜入力の場合は、マウスでカーソルを移動することにより、修正できます。
- 3) 税抜入力の場合、消費税等の端数処理は一旦四捨五入で計算しますが、貸方金額に応じて、自動判定します。

四捨五入	3,951 円	10%	2,590 + 259 = 2,849 円
		軽 8%	1,020 + 82 = 1,182 円
切り捨て	3,950 円	10%	2,590 + 259 = 2,849 円
		軽 8%	1,020 + 81 = 1,181 円
切り上げ	3,951 円	10%	2,590 + 259 = 2,849 円
		軽 8%	1,020 + 82 = 1,182 円

(4) 複合仕訳の作成

レシート入力方式画面で入力した内容をもとに、複合仕訳が作成されます。

- ①税抜経理の場合、課税区分[5]等で、かつ税抜入力の場合は「仮払消費税等(1164)」を別計上します。
このとき、課税仕入れの「内、消費税等」は0円で計上されます。
- ②消費税自動計算区分「A」は、税率別の合計金額欄で、消費税等を修正した場合は表示されません。

(5) その他

①レシート入力方式画面の利用

- 1) 消費税申告書自動作成区分を「自動作成しない」としている場合は、利用できません。

- 2) 仕入先から受領したレシート等からの入力に特化した機能です。このため、売上、輸入仕入れ、特定課税仕入れは入力できません。
- 3) 課税区分[5]等と課税区分[52]等が混在する取引は入力できません。例えば、免税事業者等からの課税仕入れで、インボイス保存免除科目に該当する取引と該当しない取引が混在している場合、これに該当します。この場合は、複合仕訳等で入力してください。
- 4) 月次決算を実施するまでは、複合仕訳の「レシート入力確認」ボタンをクリックすると、レシート入力方式画面を確認できます。月次決算を実施後は、複合仕訳で確認します。なお、複合仕訳と同様、過去仕訳の訂正・取り消しはできません。
- 5) 手形及び電子記録債権に関する仕訳は入力できません。複合仕訳等で入力してください。

②レシート入力方式画面の入力

- 1) 税抜入力の場合、課税区分[52]等を入力できません。レシート入力方式画面では、税率ごとの合計額に税率を掛け、端数処理を行い、消費税等を計算します。消費税等の端数処理を税率ごとに1回と定められているのは適格請求書であり、免税事業者等から受領する区分記載請求書はその限りではなく、消費税等の金額が一致しない可能性があるためです。
- 2) 税込入力の場合、消費税等を修正できません。仕入税額について積上げ計算を採用する場合、帳簿積上げ計算を採用すると考えられるためです。なお、税抜金額の場合は、税抜金額から消費税等を計算するため、マウスで移動することにより、消費税等を修正できるようにしています。
- 3) 税抜入力の場合、貸方金額により消費税等を自動調整します。貸方金額を入力するまでは四捨五入した結果が表示されますが、貸方金額に応じて、切捨て、切上げで計算します。
- 4) 同税率で課税区分別に仕訳を計上した場合、税率ごとに計算した消費税等を課税区分別に調整します。端数が生じた場合は、先に入力された課税区分で調整されます。
- 5) 部門明細を税込みで入力した場合、上記4)の端数調整が行われた場合は、部門明細は、最後の部門で調整されます。
- 6) 借方の元帳摘要入力時、貸方科目が決まっていないことから、標準摘要や専用摘要は利用できません。
- 7) 貸方に、入力可能な支払管理科目は1科目のみです。
- 8) 仕入値引を入力する場合は、「F3 値引入力」ボタンをクリックして入力します。
- 9) 小切手番号は入力できません。
- 10) 「仮払消費税等(1164)」を直接入力できません。

③複合仕訳の計上

- 1) 入力した内容は、複合仕訳で計上されます。
- 2) 消費税等は、税抜入力の場合は「仮払消費税等(1164)」が別計上されます。税込入力の場合は「内、消費税等」に計上されます。
- 3) 次のような、1行目には貸方のみ、2行目以降に借方科目を入力するようなケースには対応できません。複合仕訳をご利用ください。

例1：

行	借方科目	貸方科目	課区	税率	元帳摘要
1		2114 未払金	0		2月請求分 事務用品他
2	6217 事務用品費		5	10%	2月請求分 事務用品
3	6225 備品消耗品費		7	10%	2月請求分 消耗品
4	6225 備品消耗品費		5	10%	2月請求分 消耗品

例2：

行	借方科目	貸方科目	課区	税率	元帳摘要
1		2114 未払金	0		車検代
2	5456 修繕費		5	10%	未払計上 修理代
3	5459 保険料		8		未払計上 自賠責保険料
4	5457 租税公課		0		未払計上 自動車諸税

T K C 経理業務 効率化セミナーテキスト		(2024春)
令和6年1月10日 第1版発行	©T K C 著 者 株式会社T K C 発行者 飯塚 真規	〒162-8585 東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル5F
不許複製		

※当テキストは、T K C が経理業務 効率化セミナーでの使用目的で作成した資料です。

※Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

※Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※Excelの正式名称は、Microsoft Excelです。

